

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 吉原 孝彦
幹事 出口 達也
会報委員長 佐野 彰彦

2017 ~ 2018年度 国際ロータリー イアン H.S. ライズリー 会長テーマ

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ロータリー : 変化をもたらす

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

13:30 17. 散会

第2990回例会プログラム

[当年度=16回目; 当月=3週目]

2017年(平成29年)11月20日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……………それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(11/27) ……クラブフォーラム
(ロータリー財団委員会)
卓話 「ロータリー財団 次の100年に向けて」
講師 地区資金管理委員会
副委員長 神谷 研 様
(安城 RC)
(紹介者 内藤 昇 会員)
※健康診断(職業奉仕委員会)

(12/4) ……

- 新入会員アワー 山内 得次 会員
" 市川 紀征 会員

- 13:00 13. 本日のプログラム
卓話 「日本の伝統芸能と御園座」
講師 株式会社 御園座
取締役副会長 長谷川栄胤 様
(紹介者 丹羽 克誌 会員)
14. 謝辞
15. 点鐘……………〈会長〉
16. 閉会宣言

出席

会員総数 94名 出席免除 25名
出席義務者+免除者の内例会出席者 86名
欠席 9名 出席率 89.53%
前々回(10/30)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 11月18日(土)19日(日)地区大会に出席して参りました。ロータリー財団年次寄付優秀クラブ(総額上位5クラブ)の表彰状を頂きました。
2) 国際ロータリー財団よりマルチプル・ポールハリスフェローのピンバッチが届きました。大音祖瑛会員が2回目、中林久美会員が1回目でございます。また、加藤英樹会員はポールハリスフェローの認証状とピンバッチが届きました。





3) 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、株式会社小垣江鉄工所殿へ米山功労法人感謝状が届きました。市川裕大会員へ米山功労者第5回感謝状が届きました。次に、吉原孝彦会員に米山功労者第2回感謝状が届きました。



4) 米山功労クラブ第37回感謝状が届きました。
5) 神野重行ガバナーより公益法人ロータリー米山記念奨学生選考の面接官の委嘱状が加藤英樹会員に届いています。

幹事報告

1) 11月1日よりロータリー財団のロータリーレポート

(2)

は114円になりました。

2) 本日例会終了後、事務局にて理事会を開催致します。ご関係者のご出席をお願い致します。

地区大会



11月19日(日) ウェスティンナゴヤキャッスル

会長あいさつ

ロータリー財団の始まり

吉原 孝彦



今月はロータリー財団月間です。

1912-13年度クリーブランド RC 会長アーチ・克蘭フはクラブが多く出ることが出来るように「非常時基金」を提案しました。それから4年後、彼が第6代 RI 会長の時の1917年アトランタ国際大会で、「ロータリー

が基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で何かしようではないか」と提案しました。第1次世界大戦中で、4月にはアメリカも参戦を決めたころです。また、この年にはライオンズ・クラブ・インターナショナルも創設されました。

1年後にカンザスシティ RC から26ドル50セントの寄付金が寄せられましたが、6年たってもわずか700ドルに過ぎませんでした。

1928年、ミネアポリス大会で「ロータリー財団」が正式に承認され国際ロータリーとは別の組織になり、その後4年間で基金は5万ドルに成長しました。

1930年代の世界大恐慌の頃、財団は最初の補助金として身体障害児童保護国際協会に500ドル寄付しました。

大恐慌と第二次世界大戦とかが経済が沈滞し、なかなか寄付が集まりませんでした。1947年、ポール・ハリ

スのご逝去により、ロータリーの創始者をたたえる寄付金「ポール・ハリス記念基金」が呼びかけられ、翌年7月までに130万ドルの寄付が集まり、ロータリー財団の新しい幕開けとなりました。そして国際親善奨学金という奨学金プログラムが実現されました。

卓 話

「日本の伝統芸能と御園座」

株式会社 御園座

取締役副会長 長谷川栄胤 様



御園座が興行しているのは、歌舞伎を多く行っています。しかし実際に歌舞伎を見たことのある人は、全国平均で6%ぐらいであると言われています。東京・名古屋・京都・大阪・福岡などは年に一回以上は歌舞伎が開催されているので、全国平均よりはやや高いと思われるが、興行をしてない地域はかなり低いと思われます。

歌舞伎は日本の伝統芸能と言われていますが、歌舞伎の成り立ちは、出雲の阿国が歌舞伎踊りを始めたことが起源と言われています。傾奇者が踊ったので、歌舞伎と言われるようになったそうです。現在では男しか歌舞伎は出来ませんが、最初は女性のみであった。しかし風紀が乱れるという事で、若衆（若い男）となり、同様の理由で現在の野郎歌舞伎に演者が変化していったのです。もともと歌舞伎は、能や狂言と違い、庶民の為の芸能であった。読み書きのできない庶民を楽しませるためなので、難しく考える必要はないと思います。江戸時代に歌舞伎は発展し、舞うだけではなくストーリー性を持つようになり、今ある歌舞伎に進化していきました。

名古屋は、芸どころと言われています。その起源は、徳川吉宗の時代、尾張藩主徳川宗春が尾張を治めていた時代、江戸・大坂の歌舞伎役者が名古屋に集結し、興行を行っていました。普段、江戸や大坂でそれぞれの芸を披露していたのですが、名古屋に集まることによって、お互いのいいところを見て取り入れ発展していきました。また、一流芸能を見ることで、庶民の目が肥え、名古屋は芸どころと言われるようになった所以です。全国には素人歌舞伎が今でも百件行われていますが、特に東海地方にはその半分が現在でも残っています。しかし、名古屋市内にはありません。間近で、一流の芸能を見ることができたからと言われています。

明治になり、日本の伝統的なものが切り捨て、欧米の新しい文化を取り入れようという動きがあり、歌舞伎も存亡の危機に陥りました。しかし、明治天皇が初めて歌舞伎をご覧になったことで、歌舞伎が、庶民のものから、日本の伝統的芸能として認められました。歌舞伎は、時代の流れに応じて進化し続けています。

現在でも吉例顔見世という興行がありますが、江戸時代三座の代表が一年間の興行を行っていく役者を決めるために、今でいうドラフト会議を行い、役者を選び興行

内容を決め、年度初めての興行を顔見世と言って11月に行っていました。年間の契約金が千両だと千両役者と言われました。

私は5代目ですが、長谷川家は、もともと、絹問屋でした。初代が明治座を見て名古屋にも作りたいと思い、1896年に初代御園座が完成しました。二代目は1935年に完成しましたが、1945年の名古屋大空襲によって消失。祖父が満州から復員二年目に、1947年三代目の建物を再建することができました。人の心を豊かにすることが大切であるという思いのもと、再建にこぎつけました。戦後最初に再建された大型劇場が御園座でした。しかし、1961年失火により焼失。1963年皆さんのご存じである四代目の御園座が完成しました。現在五代目である建物を建築中です。伝統的な手法である、海鼠壁をデザインに取り入れながらも近代的な外観にしています。劇場内は朱色、木、市松模様を基本ベースにして、装飾デザインを行いました。ところで、朱色は赤色に何色を足すとできる色だと思いますか？黄色だと橙色、青色だと紫ですが、朱色を作り出すためには赤色に金色を混ぜることによってできます。朱色は、日本を感じさせることのできる伝統的な色なのです。観客席は従来の1650席から1300席に減らし、常に満席である状態を作り出しています。名鉄劇場・中日劇場の閉鎖が決まり、そのお客様が御園座に集中するとよく言われますが、劇場が減るという事は、興行が減るという事で、観劇の人口が減ってしまうことが考えられます。毎年名古屋に来ていた演目が、名古屋を飛ばしていってしまうこともあり得るのです。また今回建て替えにあたり、地元伏見の方々にもご迷惑をおかけしました。今後は共存共栄を目指していきます。

今後御園座は歌舞伎だけではなく様々な興行を行ってまいります。4月には柿落し興行を行います。歌舞伎は先ほどもお話したよう、難しいものではありません、ぜひ実際に見て楽しさ、面白さを見つけていただきたいと思います。先日高校生を対象にお話しさせていただいたのですが、忠臣蔵を知っている高校生が皆無でした。スマホ世代になり、自分の必要なものは調べるが、必要のない情報は取り入れなくなっています。今後我々は、日本の大切な文化を伝え、若い世代に継承してもらいたいと思います。

第 6 回 理 事 会

- I 会長挨拶 〈会 長〉
- II 議 題
 - 1. 12月・1月のプログラム（案）について 〈クラブ奉仕委員長〉
〈プログラム委員長〉
 - 2. 新年例会並びに合同懇親会について 〈幹 事〉
 - 3. 第18回そろばんフェスティバル後援について 〈職業奉仕委員長〉
 - 4. 地区国際奉仕ラオスプロジェクト協賛について 〈国際奉仕委員長〉
 - 5. PYLA セミナー参加について 〈青少年奉仕委員長〉
 - 6. 次年度地区委員会委員推薦について 〈会長エレクト〉

